

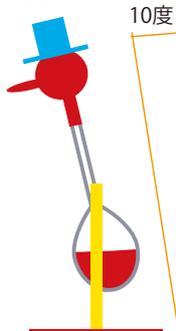
「平和鳥」の動かし方

この写真は日本製平和鳥です



日本製の平和鳥について

- 1、プラスチックの足に平和鳥の金具を引っかけます。
- 2、直立させたときに平和鳥の頭が若干、お辞儀した状態になっていることを確認します。(おじぎ10度位)
液体はフラスコの下に落ちている状態にします。



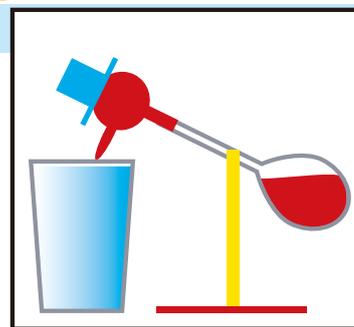
液体が上まで上がっている場合、頭の部分を手で覆い暖めると液体が下に下がります。



ほんの少し金具を後ろから押すと前かがみになります。

では、動かして見ましょう。

- 1、顔全体(フェルト部分)を水で濡らします。
全体を濡らさないとうまく動かない場合があります。
- 2、高さ7cm~8cmのコップを用意し、水をコップぎりぎりまで入れて下さい。
- 3、イラストの様にくちばしが水につくぐらいの位置にコップと平和鳥を配置して下さい。



台湾製の平和鳥について 台湾製と日本製は調節が異なりますのでご注意ください

- 1、水で頭部全体を湿らせて下さい。
頭部全て(フェルト部分)を必ず濡らして下さい。
- 2、7cm~8cmのコップに用意し水を入れます。
- 3、左記のように、液体の入っている「フラスコ」を支えている、金属の羽根部分を上下に調整します。
最適な位置を、決めて下さい。

↑ ↓ この間で、上下に金属部分を動かして最適な位置を決めて下さい。(下部にする方が適正な位置が出るようです)

本体の金具部を後ろから軽く押して前のめり気味にするとうまく動きます。

平和鳥の育て方

- ◆水は1日一回新鮮な水に取り替えます。(平和鳥が喜びます)
- ◆水に含まれる、塩素やミネラル等で平和鳥の頭部に白い結晶が付着しますが、特有のものでございますのでご了承下さい。精製水(蒸留水)を使用されますと水道の水よりは付着が抑えられます。

液体の入っている「フラスコ」部分はガラスでできておりますので、取扱いには十分ご注意ください。また、液体の染料が衣服等に付きますと取れない恐れがありますので充分ご注意ください。



この写真は台湾製平和鳥です

平和鳥の再チェック

液体のチェック ガラスの破損等で漏れないか確認しましょう。

温度のチェック 季節により部屋の温度が低いと止まったり、温風が当たると、フラスコ内の液が、上昇しやすく(頭部に上がりやすい)コップの水を飲んだままになったりすることがあります。同じ環境でも季節が変わる事で、活発になったりゆっくりになったりすることがあります。室温15度~18度位が一番いい状態です。また、コップの中の水に氷を入れると動きが活発になることもあります。

静止したときの頭の角度のチェック ほんの少し前かがみであることが理想です。あまり前に出過ぎているとコップに頭をつけたときに起きあがれなくなることもあります。金具を前に押し出したり、調整することで頭の角度をチェックして下さい。